

地球学類

College of Geoscience

- 学士（理学）
- Bachelor of Science

人材養成目的 / Program Educational Objectives

地球の誕生から現在に至る地球の進化、大気圏・水圏・岩石圏で起こる様々な現象とそのプロセス、そして地球環境を舞台に展開される人間活動についての総合的な知識と思考力を有する、社会の諸分野で国際的な視野に立って活躍できる人材を養成します。

養成する人材像	汎用コンピテンスとして、コミュニケーション能力、批判的・創造的思考力、データ・情報リテラシー・広い視野と国際性、心身の健康と人間性・倫理性、協調性・主体性・自律性を持ち、専門コンピテンスとして、自然科学一般の理解、地球学に関する専門的素養、科学的思考能力、室内実験・分析技能、フィールドワーク能力、研究企画・遂行・総括能力を有し、気象・環境・地質・防災・エネルギー・建設・情報通信・旅行・金融など多様な分野において、国際的な視野と科学的知見を活かして社会に貢献できる人材を育成します。
卒業後の進路	卒業生の約7割は大学院に進学しています。就職先としては、気象・環境・地質・防災・エネルギー・建設・情報通信・旅行・金融など幅広い産業分野が進路として想定されます。また、官公庁や自治体、独立行政法人における防災・環境行政、教育機関や博物館での教育・普及活動など、多様な領域で国際的視野と科学的知見を活かして活躍している卒業生もいます。

学位授与の方針 / Diploma Policy

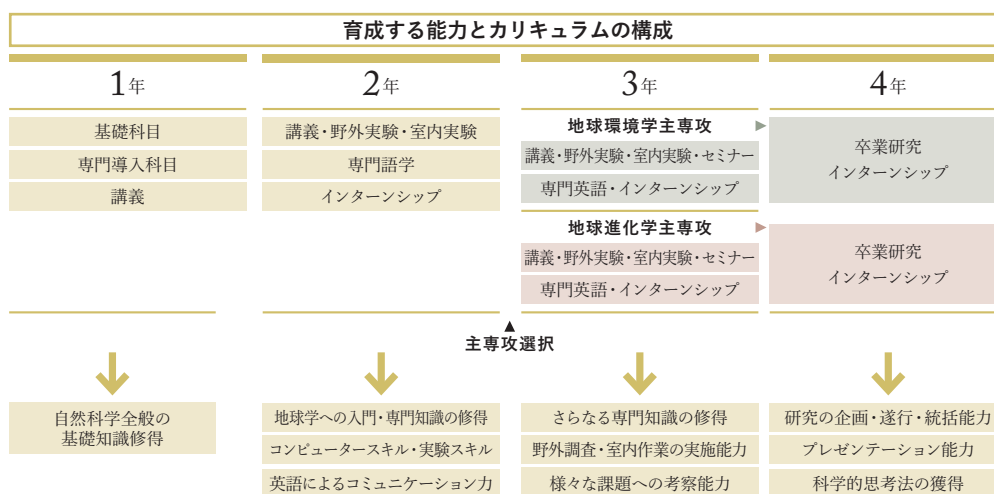
筑波大学学士課程の教育目標に基づく知識・能力（汎用コンピテンス）、ならびに本学類の人材養成目的に基づく知識・能力（専門コンピテンス）を修得した者に、学士（理学）の学位を授与します。

知識・能力（専門 コンピテンス）	1. 自然科学一般の理解	専門とする分野にとどまらない、自然科学一般に関する幅広い知識について理解している。
	2. 地球学に関する専門的素養	地球学に関する高度な専門知識と多様な研究手法について理解している。
	3. 科学的思考能力	科学的なデータ・情報を適切な手法で解析し、合理的な推論を導く能力を修得している。
	4. 室内実験・分析能力	安全確保上の注意点を踏まえ、室内における実験機器や分析装置を使用する技能を習得している。
	5. フィールドワーク能力	安全確保や個人情報保護などに配慮しつつ、野外での観察・観測やデータ収集を遂行する能力を修得している。
	6. 研究企画・遂行・総括能力	研究・調査を企画・遂行し、その成果を卒業研究論文・レポート等としての確にまとめ発表する能力を修得している。
学修成果の評価に関する方針	学位授与の方針に掲げるコンピテンスについて、科目ごとに対応関係、評価基準と成績評価方法をシラバスにおいて示しています。これらの科目の単位取得状況に基づき、コンピテンスの達成状況を測定しています。学位授与の評価は学修成果の集大成として卒業研究を重視し、卒業論文および最終発表とその質疑応答を通じて、学位授与の方針に掲げた知識・能力（コンピテンス）が修得できているかを指導教員を含む複数の教員が審査する体制により評価します。	

教育課程編成・実施の方針 / Curriculum Policy

学士（理学）に係る学修成果を身に付けるためのプログラムとして、次の方針に基づき教育課程を編成・実施します。

<p>教育課程の編成方針</p>	<p>総合的な方針</p> <p>地球学類は、現在の地球環境を扱う「地球環境学主専攻」と、地球の変遷史を扱う「地球進化学主専攻」の二つの主専攻を設けています。各主専攻では、人文地理学、地誌学、大気科学、水文科学、地形学、環境動態解析学（以上、地球環境学主専攻）、地史・古生物学、地層学、地球変動科学、岩石学、鉱物学、地球資源科学（以上、地球進化学主専攻）の学問分野を学びます。</p> <p>順次性に関する方針</p> <p>1年次では、自然科学を中心に人文・社会科学を含む学問全般に関する基礎的知識を習得するとともに、地球学に関する専門導入科目の履修により、2年次以降に必要な基礎的な能力を身につけます。2年次では、地球学入門を意図した専門科目とともに、専門基礎科目として地球学に必要な数学、物理学、化学、英語などを学ぶことで、計算・資料整理・発表等にかかわるコンピュータや実験機器の利用能力を高めます。さらに、英文の読解能力や英語コミュニケーション能力を修得するための専門英語を受講します。3年次からは、主専攻に分かれ、それぞれの専門科目を中心に履修します。講義、セミナー、室内実験、野外実験で構成された専門科目を受講することで、専門知識を深めます。また、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験を数多く開講しており、野外調査と室内作業を行う能力を修得します。また、主専攻の他に生命環境学際主専攻（留学生コース）を含めた副専攻を選択することができます。4年次では卒業研究が中心となり、教員や大学院生と議論をしながら調査・実験を進めることで、研究の企画・遂行・総括能力や研究成果の内容を第三者に的確に伝達する能力を高めていきます。</p> <p>実施に関する方針</p> <p>学生の主体的な学修を促すために、学類担当教員による教科書を準備するとともに、e-learningシステムを活用しています。産業界や地域との連携およびキャリアパス教育の一環としてインターンシップ科目を設けています。また、学類独自に、また学群や関連学類と共同で、実験室やコンピュータなど学修を支援する環境の整備を行っています。さらに、国際化の推進のために、少人数制の専門語学や国際野外実験の開講、生命環境学際主専攻の英語講義の受講を推奨しています。</p>
<p>学修の方法 特色的な教育</p>	<p>本学類の特徴である野外実験は、本学附属研究センター、附属研修施設などと連携・協力して実施されており、大型水路や熱収支・水収支観測圃場などが研究教育目標を達成できるように整備されています。また、地学・地理オリンピックやジオパーク設立に向けた活動に協力することで、地球学類生が地球学を通じた社会との接点を持つ機会を設けています。</p>



入学者受入れの方針 / Admission Policy

求める人材	地球環境や地球進化に高い関心と探究心を持ち、問題解決に向けて自主的かつ積極的に取り組み、広い視野から事象を分析することができる人材。
入学者選抜方針	個別学力検査等前期日程 文系系・理系系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を大学入学共通テストと筆記試験で総合評価して選抜します。
	個別学力検査等後期日程 文系系・理系系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、地球環境や地球進化に対する広い興味と高い学習意欲を持ち、論理的に思考・表現する能力を持つ人材を大学入学共通テストと口述試験で選抜します。
	推薦入試 高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を書類選抜します。
	国際バカロレア特別入試 文系系・理系系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力を持ち、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、学習に取り組む意欲のある人材を筆記試験と口述試験で選抜します。
	外国学校経験者特別入試 海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から地球をとらえ、地球環境、地球史に関する幅広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力と地球学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を筆記試験と口述試験で総合的に評価します。
	編入学試験 自然科学や社会科学に関係する高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、論理的な思考力・表現力を持つ人材を筆記試験と口述試験で選抜します。

学修支援体制 / Learning Support Framework

学修支援	クラス担任制度を設け、きめ細かな学修支援を行っています。担任教員は、学修上の悩みや進路選択の相談に応じ、学修方法の指導を通じて学生一人ひとりの成長を継続的にサポートします。入学後にオリエンテーションを行い、履修計画の作成をサポートしています。2年生向けに分野説明会を開催し、学生が適切に専門分野を選択できるようサポートしています。
学生同士の交流機会	複数のクラス活動を通じて学生同士が主体的にイベントを企画・参画できるようにしています。また野外巡検等で、学生が共同で調査する機会を設けています。
教員との交流機会	クラス連絡会を開催し、学生の意見を教員に伝え、共に教育環境を改善する場を設けています。教員と学生が交流する場を随時設けることで、学生と教員の交流を促進しています。

教育の質の保証と改善の方策 / Approaches to Assuring and Enhancing Educational Quality

教育指導体制の充実

入学時、進級時ごとに、適切な履修指導、進路指導を行っています。また、シラバスの内容を充実させ、学生への積極的な学習支援を図っています。学類の運営委員会で学修成果の評価結果を点検し、教育の質が適切に保たれているかどうかを検討し、改善点が生じた場合はカリキュラム委員会を主体としてカリキュラム等の改善を行います。

少人数授業体制

専門語学、セミナー、演習等は少人数制を実施しています。個々の学生に対して教員がマンツーマンで対応し、きめの細かい親身な指導を行っています。

教員の研究教育能力の保証

教員のピアレビューにより高度な専門的能力を備えた教員を配置し、学生の様々な要望に応じたきめ細かい教育研究活動を展開しています。また、学生による授業評価、筑波大学の大学教員評価など、多様な観点から教員の教育・研究成果を評価検証し、継続的に質の高い教育の提供に取り組んでいます。

授業改善への取り組み

ファカルティ・ディベロップメント活動を組織的に実施し、授業内容の改善に向けて個々の教員や教員グループによる教材や教育指導法の主体的開発を行っています。

